

# 兵庫県商工新聞

編集委員会  
兵商連新聞編集委員会  
発行  
兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811  
神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎ (078) 341-0563(代)  
FAX (078) 341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2022年2月  
第354号

# 集まって助け合い 自主申告を



## 話し合えば怒りの声

〔垂水民商〕

各民商では、班や支部で自主計算・自主申告の準備をすすめています。「大企業には減税して、私ら庶民には大増税。めっちゃ腹が立つ」「支援金は課税せんといて欲しい」と怒りの声。各地の班会を紹介しました。

垂水民商では、1月21日、確定申告準備班会がスタートしました。

1回目の班会は26会場を確保し、清水が丘班からのスタートで5人が参加しました。

班会では、2冊の「自主計算パンフレット」を学習しながら、実務の変更箇所なども確認しました。

建築業の会員は、「長期にわたって仕事が減って、生活が苦しくなっている」と話していました。

別の会員は、「仕事量が少しずつ減っていったら」「消費税が30万円近く、負担が大きい。不公平な税制とあって」「少し遅い時間にスーパーに行く」と、若い人が値引きされた

商品のカゴに入れているのを見かけ、身につまされ悲しい思いになる」などの声が出されました。

消費税が大企業の減税に使われていることも話題に。インボイス廃止の運動を強めることも話し合いました。

最後に、「知り合いに渡したり、地域に配ろう」とピラを30×40

## 教え合い、申告書書き 上げたよ

〔兵庫民商〕

枚それぞれで持ち帰りました。

（垂水・大谷通信員）

兵庫民商大開支部では、1月21日に喫茶真坊で確定申告相談の班会を開き、5人が参加しました。

「消費税5%引き下げインボイス廃止の署名を書いてもらい、夏には選挙があるので消費税減税の勢力を伸ばしてインボイスを廃止に追い込むために署名を広げて欲しい」と依頼。王子動物園・王子公園再整備の話にも

「消費税5%引き下げインボイス廃止の署名を書いてもらい、夏には選挙があるので消費税減税の勢力を伸ばしてインボイスを廃止に追い込むために署名を広げて欲しい」と依頼。王子動物園・王子公園再整備の話にも

「消費税5%引き下げインボイス廃止の署名を書いてもらい、夏には選挙があるので消費税減税の勢力を伸ばしてインボイスを廃止に追い込むために署名を広げて欲しい」と依頼。王子動物園・王子公園再整備の話にも

「消費税5%引き下げインボイス廃止の署名を書いてもらい、夏には選挙があるので消費税減税の勢力を伸ばしてインボイスを廃止に追い込むために署名を広げて欲しい」と依頼。王子動物園・王子公園再整備の話にも

「消費税5%引き下げインボイス廃止の署名を書いてもらい、夏には選挙があるので消費税減税の勢力を伸ばしてインボイスを廃止に追い込むために署名を広げて欲しい」と依頼。王子動物園・王子公園再整備の話にも

## 磯谷吉夫さん、ありがとうございました

写真でたどる磯谷さんの生涯。たたかいの先頭にいつも磯谷さんの姿があります。

昨年9月1日、全商連副会長・兵商連会長の磯谷吉夫さんがお亡くなりになりました。

あれから4ヵ月余り。1月15日、「お別れの会」を全商連と兵商連の共催で開きました。

参加者からは、「お酒を飲みながら人生や商売、民商運動を熱く語っていた磯谷さんとの会話は貴重な学びの場だった」「各地で起こる災害にも心を寄せ、仲間を励ましてこられた」と磯谷さんへの思いが語られました。

全商連方針を堅持し、家族と仲間をより大切に思い、業者人生を楽しんできた磯谷さん。本当にありがとうございました。



算パンフを使って、確定申告の留意点を説明。「インボイスの中止は、署名と世論を広げることが大事」と訴えました。話を聞きながら署名する会員から、帳簿のデジタル化のことやインボイスの詳しい質問が出されました。

その後、兵庫県の一時支援金の書き方も学び合い、皆で申請書を書き上げました。「コロナで仕事もキャンセルが続く、10万円の支援は助かる。振込が楽しみ」「民商で色々な情報を教えてもらいうれしい」との声が。

「オミクロン株の感染が広がり、回りでも入院し、収入が途絶えた仲間もいる」「希望を持って商売が続けられるよう励まし合おう」と元気が出た集まりになりました。

（神戸北・川口通信員）

## 民商で励まし合い、商売つづけよう

〔神戸北民商〕

神戸北民商では、支部の広陵谷上支部の相談会は、コロナの影響もあって事務所で開催。

山田初治会長が「会員の協力で紹介を増やして頂きたい。お渡しした民商リーフを活用して、民商を知らせて欲しい」と訴えました。

川口友美事務局長から、自主計

算パンフを使って、確定申告の留意点を説明。「インボイスの中止は、署名と世論を広げることが大事」と訴えました。話を聞きながら署名する会員から、帳簿のデジタル化のことやインボイスの詳しい質問が出されました。

その後、兵庫県の一時支援金の書き方も学び合い、皆で申請書を書き上げました。「コロナで仕事もキャンセルが続く、10万円の支援は助かる。振込が楽しみ」「民商で色々な情報を教えてもらいうれしい」との声が。

「オミクロン株の感染が広がり、回りでも入院し、収入が途絶えた仲間もいる」「希望を持って商売が続けられるよう励まし合おう」と元気が出た集まりになりました。

（神戸北・川口通信員）



もうかき まるかき

▼先日、須磨海岸を訪ねた。砂浜に立ち、瀬戸内海の波の押し寄せをゆっくりと見ていると、幼い頃に家族や友達と一緒にこの海岸に海水浴に来たことを思い出す▼その海岸の北側に須磨水族園がある。今は本館のみの営業で、それ以外の施設は工事中。1957年に神戸市立須磨水族館として設立され、87年から水族園としてリニューアル。65年の長きにわたり多くの市民に愛されてきた▼しかし、これからは民間事業者が施設の整備・運営を行うとか。小中学生ならどの子も無料で入れるのびのびバスポートは年に一度しか使えない。2024年、グラントオープンが予定されている水族園は、入場料が今の倍以上、お金のあななしで行ける子どもと行けない子どもがで、格差が生まれる▼建物の老朽化と合わせ、時代の流れの中に変化は起る。その変化が市民の望むものなのか、一部の人が望むものなのか、そこが大切だ▼今回、神戸市灘区の王子動物園・王子公園の再整備も怪しく感じる。市民の声を聞き、市民の願いに寄りそった整備・改修を願う。

(K)

# 力を合わせ 春の運動の前進を

## 役員・事務局が一緒に行動しよう 民商・兵商連新春決起集会

1月9日に開いた新春決起集会には、21民商から92人が参加。全商連の藤川隆広副会長の講演では、「56民商の大阪、30民商の兵庫は、民商数、会員数も多く、全国的に果たしている役割が大きい。感染対策もしながら、報告と問題提起は、土谷洋男副会長。「春の運動では、国の事業復活支援金、県の一時支援金の申請と合わせ、自主計算・自主申告の取り組みをすすめる必要がある。感染対策も取りながら、役員・事務局が力を合わせずすめよう」と呼びかけました。



主催者挨拶をする加口良秋会長代行  
自主計算・自主申告の取り組みをすすめる必要がある。感染対策も取りながら、役員・事務局が力を合わせずすめよう」と呼びかけました。その後、7つの分散会で討議。全体再開後、全商連70周年の拡大顕彰をそれぞれの民商に贈呈。役員と事務局が力を合わせ、「春の運動」で年間増勢を切り開く決意を固めました。



## 飲食店等一時支援金相談会 【尼崎民商】

尼崎民商では、1月24日に第1回目の飲食店等一時支援金相談会を朝10時から夕方4時まで開催し、40人の会員が参加しました。相談会では木南幸一郎拡大推進委員長が「1ヵ月500円の商工新聞を読んでくれる人を1人でいいので紹介してくださいか？」と1人ひとりに声をかけて回り、中にはその

参加者からは、「久しぶりの分散会。少人数でしたが、意義のある交流ができました」「コロナ禍で大変だが、集まって話し合う場は大切と感じた」と感想が寄せられました。

## 平和と憲法を守ろう

### 沖縄県・名護市長選支援に入って

1月5日から24日まで沖縄県・名護民商に支援に入りました。名護民商は会員700人の民商で、名護市内には読者と会員で280人が住んでいます。1月6日の理事会で仲本興真会長から「現職との闘いではなく、国との闘いだ。ウチナンチューの魂を揺

さぶる活動にしよう」との訴えが。

沖縄県連の支援も受け、土日を統一行動にし、スタンディングやピラマキ、会員訪問を徹底する中、役員が連日民商事務所に入りし、選挙ムードになってきました。私は名護民商の事務局と組みをくんで、連

日会員訪問をしました。電照菊やさとうきびなど農業の会員も多く、出荷に忙しい時期でなかなか出会えませんでした。出会えた方とは「本土から？頑張ってください」と励まされました。前知事夫人の翁長樹子さんも民商に激励にこられ、会員訪問。これは今までに無かった事で、絶対に負けられない選挙をたたかっていると感じました。相手陣営は、自民党の大型宣伝カーや公明党



が入り、建設業はもの凄く締め付けがありました。何としても基地をつくると力だねじ伏せる政府のテコ入れだったようです。民商は告示前までに名護市内280人の読者・会員訪問を終え、元会員・市外の会員・相談者への訪問・対話も終えていました。毎日「民商・市長選必勝ニュース」を組織配布することで会員数の5倍の支持拡大につながりました。悔しい結果ですが「あきらめない」「たたかいを経験し、元気な力をもらいました。」(兵商連・嶋津通信員)

## 私の商売ものがたり

NO.228 宮田眞智子さん (飲食) 須磨民商



## 旬の魚と野菜がお出迎え

山陽電車須磨駅前、2号線沿いに「酒処ほんわか」があります。カウンターとテーブルで、10人ほど入れるこじんまりした店を始めて18年。ママの宮田さんは、女手一つで必死に店を切り盛りしてきました。「店を続けられたのは、常連さんと民商が支えてくれたから」と話します。毎朝かかさず、新鮮な魚と野菜を仕入れに行き、仕込みを行います。まん延防止措置、緊急事態宣言の時も、時短営業・酒類提供なしなどの協力要請に応え、店を開けてきました。

「今日は新わかめが入ったんや。若竹煮をしようと思ってるん」「旬の野菜を和えたり、煮たり、『ママの味はちょっと違うわ』とおふくろの味を求めて足を運んできてくれる。ホンマありがたい」と笑顔が広がります。

「今日はお話を楽しみで、通ってくれる常連さんも多く、たえず笑いはつきません。『お客さんと楽しく、店を続けたいわ』と語ってくれました。」

**酒処 ほんわか**  
〒654-0055 神戸市須磨区 須磨浦通 5-1-11-102  
☎ 080-3810-8004

## 経営情報

「納付する税額は納税者の申告によるので確定申告が「申告納税制度」です。今年の確定申告は、コロナ関連給付金などを事業収入に加えなければなりません。確定申告によって所得税額だけでなく地方税や国保・介護保険料などの負担が大きく変わります。申告の相談は民商へ。」

「納付する税額は納税者の申告によるので確定申告が「申告納税制度」です。今年の確定申告は、コロナ関連給付金などを事業収入に加えなければなりません。確定申告によって所得税額だけでなく地方税や国保・介護保険料などの負担が大きく変わります。申告の相談は民商へ。」

## 念願の新事務所が完成 【伊丹民商】



昨年1月の理事会で、伊丹民商会館の耐震性が問題となり検討委員会を設置し、建て直すことを決めました。解体工事、地鎮祭、鉄骨組工事とすすめる中、12月28日に念願の新事務所が完成しました。昨年末に移転し、1月22日新事務所の竣工祭をおこないました。

「店閉めたら、お客さんが来なくなってしまうので、昼は定食に切り替え、やってきたんよ」と。ママとの会話が楽しみで、通ってくれる常連さんも多く、たえず笑いはつきません。『お客さんと楽しく、店を続けたいわ』と語ってくれました。」

## 編集後記

コロナ感染症が始まって丸2年。落ち着くどころか未だに過去最高の感染者数を更新し猛威を振るっている。米軍基地のある地域の感染は完全に人災。国民を守るため、アメリカに強く抗議できない政権は早く退陣を!! (H)